

環境シンポジウム 2018

SDGs を見据えたこれからの住宅産業

趣旨

私たち一般社団法人プレハブ建築協会は、安全・安心で快適な住まいと持続可能な社会の実現を目指し、環境に配慮した住まいとまちづくりに取り組み、エネルギーをより賢く効率的に利用できる、スマート

ハウスやスマートシティの普及を推進しています。

そうしたなか、2015年、国連において「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、日本国内においても、SDGsの達成に向けた様々な取組みが本格化しつつあり、私たち住宅産業界も、『誰も取り残さない』というSDGsの理念に沿って、より包括的な取組みを進めていく必要があります。

本シンポジウムでは、SDGsと住宅産業の関わりを再確認し、なかでもゴール11「住み続けられるまちづくり」の視点から、住まいや街のレジリエンスについて考えるとともに、会員各社の先導事例を共有し住宅市場における工業化住宅の魅力を再考します。



日 時 平成30年12月11日 火曜日 13:00～16:45（受付12:30）
会 場 住宅金融支援機構本店「すまい・ホール」（東京都文京区後楽1-4-10）
参加費 1,000円(税込) ※当日会場受付でお支払い下さい（領収書をお渡し致します）
お申し込み 定員250名 どなたでもご参加いただけます
 ※詳細は裏面【申し込み方法】をご覧ください

特別講演



SDGs に向けた住宅産業の役割

－住宅のレジリエンスの視点から－

清家 剛 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 准教授

1987年3月東京大学工学部建築学科卒業

1989年3月東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了

1991年4月東京大学工学部建築学科助手を経て1999年4月より現職。博士（工学）

スケジュール

13:00～13:10	開会あいさつ	(10分)
13:10～14:20	特別講演「SDGsに向けた住宅産業の役割－住宅のレジリエンスの視点から－」	(70分)
14:20～14:45	環境行動計画「エコアクション2020」の進捗報告	(25分)
14:45～15:00	(休憩)	(15分)
15:00～16:40	事例発表	(100分)
	・大和ハウス工業 住宅・建築のバリューチェーンとSDGsの関わり	(25分)
	・ミサワホーム ネットワークを利用した防災・減災の取り組み	(25分)
	・積水ハウス 空気環境配慮仕様「エアキス」と健やか住環境創造の取り組み	(25分)
	・まちなみWG 既成分譲地の建替えにおける景観・まちなみへの配慮	(25分)
16:40～16:45	閉会あいさつ	(5分)

主催 一般社団法人 プレハブ建築協会 住宅部会 環境分科会

お申し込み

- お申し込み 以下の囲みに記載の申込 WEB サイトからお申し込み下さい。
定員 250 名 どなたでもご参加いただけます
締め切り：12月9日(日) ※先着順で定員に達し次第締め切らせていただきます。
- 参加費 1,000 円(税込) ※当日会場受付でお支払い下さい (領収書をお渡し致します)

会場案内図



【申し込み方法】

- 環境シンポジウムは以下の申込 WEB サイトからお申し込み下さい。

<https://purekyo.smktg.jp/public/seminar/view/18>

申し込み後『環境シンポジウム 2018 お申し込み受付・受講票発行のお知らせ』メールがご指定のメールアドレスに送信されます。メールに記載の URL から受講票をプリントアウトし、当日会場受付でご提出下さい。

お問合せ

一般社団法人 プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局

E-mail : jyutaku@purekyo.or.jp (メールの件名を「環境シンポジウム問合せ」として下さい)